

揺れによる地震被害想定 の対象断層モデル設定の考え方について

北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会
地震防災対策における減災目標設定に関するワーキンググループ(第21回)

揺れによる地震被害想定の対象断層モデル設定の考え方について

地震動を計算するため、津波の断層モデルに対応する地震動の断層モデルを設定する。

既に公表済みの想定地震※に、津波の断層モデルに対応するものがある場合は、既往モデルとして設定し、該当するものがない場合は新規にモデルを設定する。

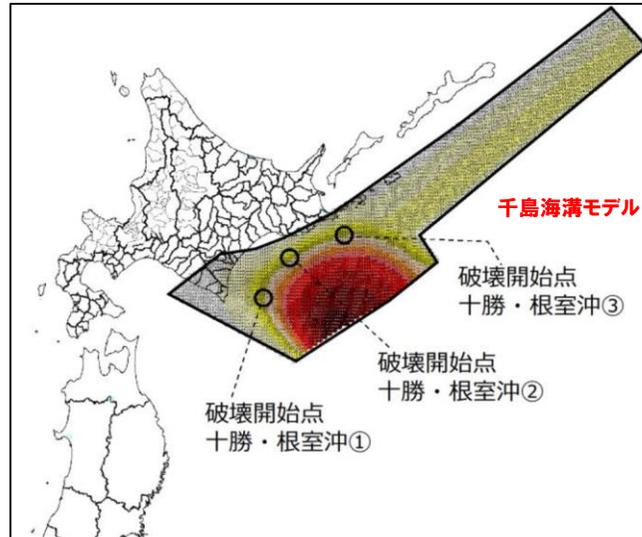
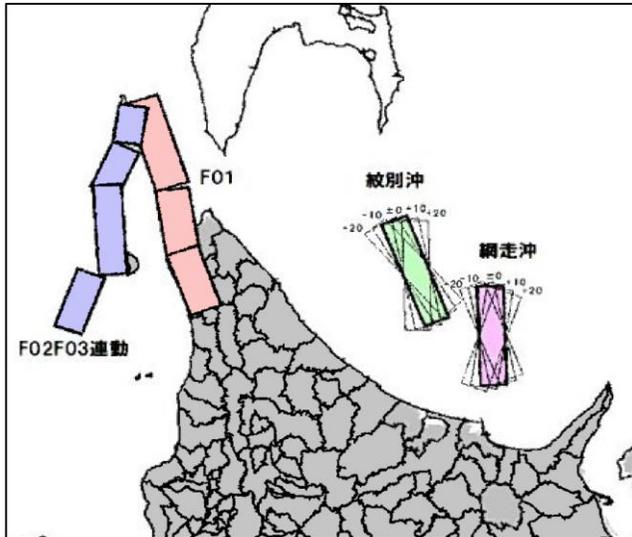
海域	津波断層モデル	地震動既往モデル	地震動新規モデル
日本海	1 5 地震	7 地震	8 地震
オホーツク海	5 地震	4 地震	1 地震

※想定地震見直しに係る検討報告書（平成23年3月）

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定（令和4年7月）

オホーツク海沿岸

津波断層モデル

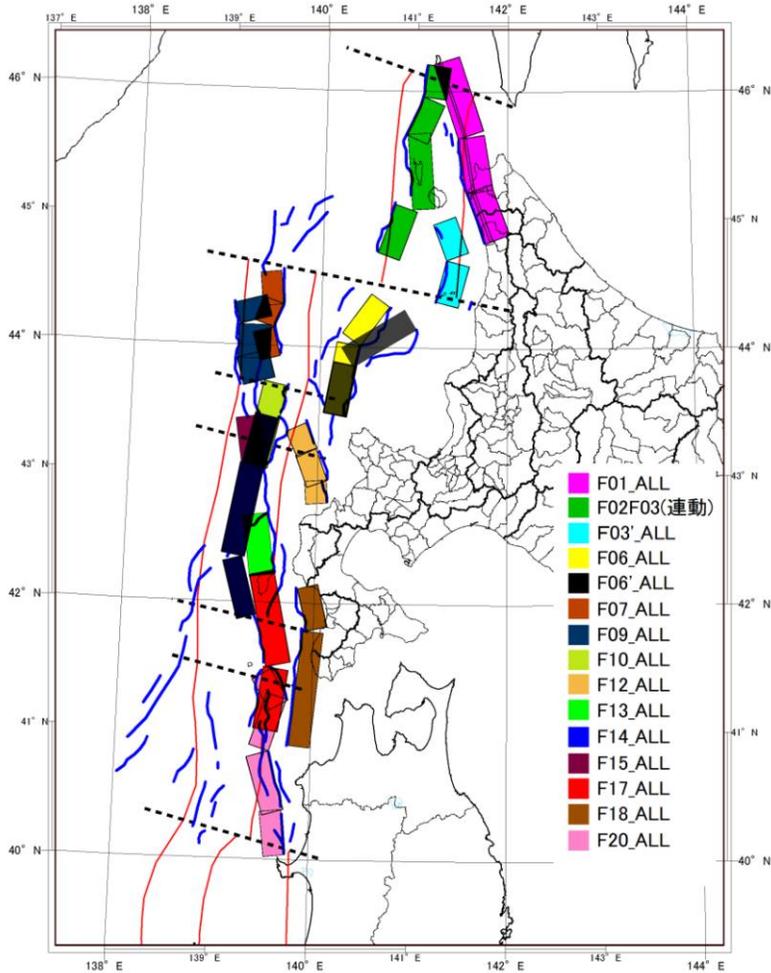


津波断層モデル	地震動断層モデル
F01	新規モデル
F02F03連動	既往モデル
紋別沖	既往モデル
網走沖	既往モデル
千島海溝モデル	既往モデル

揺れによる地震被害想定の対象断層モデル設定の考え方について

日本海沿岸

津波断層モデル



津波断層モデル	地震動断層モデル
F01_ALL	新規モデル
F02F03(連動)	既往モデル
F03'_ALL	新規モデル
F06_ALL	既往モデル
F06'_ALL	既往モデル
F07_ALL	既往モデル
F09_ALL	既往モデル
F10_ALL	新規モデル
F12_ALL	新規モデル
F13_ALL	新規モデル
F14_ALL	既往モデル
F15_ALL	既往モデル
F17_ALL	新規モデル
F18_ALL	新規モデル
F20_ALL	新規モデル